総合2026
活動家宣言 <We act !>
～ギャップから始まる、私たちのアクション～

第21回　12月3日(木)13:00～14:30

スポーツを伝える側から発信する側へ　…
スポーツ界のセクシュアルハラスメントを四半世紀追いかけて



山田 ゆかり氏

一般社団法人飛騨シューレ代表理事／津田塾大学　非常勤講師

会場：津田塾大学小平キャンパス特別教室

＜講師プロフィール＞

一般社団法人飛騨シューレ代表理事、津田塾大学非常勤講師、津田塾大学国際関係研究所客員研員、早稲田大学ジェンダー研究所招聘研究員。米国インディアナ州立ボール大学、ジョージア州立大学研究員を経て、現職。スポーツをツールとした、ライフスキル（生きる力）教育の実証実験をしながら、オルタナティヴ・スクールを目指す。「こどもとスポーツ（こころとからだ）」のみならず、「女性とスポーツ（ウエルネス）」とのかかわりにも言及。研究分野はスポーツ・ジェンダー論。
活動体URL　https://hidaschule.wixsite.com/hidaschule
活動内容は飛騨シューレFacebookにて

＜担当スタッフより＞

スポーツは誰もが平等に楽しめるものだという理想がある一方で、女性アスリートへの偏見や競技環境の格差など現実には様々なギャップがあることが報道されています。山田ゆかりさんは、スポーツ界に存在しているジェンダー格差や女性アスリートが直面する課題を、日本のみならずアメリカの状況についても調査し、発信してきました。今回、山田さんご自身が、そのようなギャップをどのように社会に発信してきたのか、また、理想と現実のギャップを超えていくために子どもたちを対象に行っている飛騨シューレの試みについて、お話しいただきます。山田さんの講演を通して、スポーツ界における理想と現実のギャップを自分ごととして捉え、身近なところにあるアクションについて考えてみませんか？